

令和5年度 市民の声一覧(下半期公表用)

受付月	区分	件名	市民の声	回答(対応)内容	担当課
10月	市民生活(くらし)	自転車の安全について	<p>私は、10月中旬に高知市を観光した者で、高知市民ではありません。 牧野植物園や高知城を観光させていただき、たいへん満足しております。 ただひとつ、残念なことがあり、高知市を再訪することをためらってしまいますので、改善していただきたく、お願いいたします。</p> <p>高知市繁華街周辺では、歩行している私たちの前後左右から、かなりの速度で自転車が走ってきます。気を付けて真っ直ぐ歩かないと、すぐ脇を自転車がすり抜けていきますし、見通しの良くない交差点などでは、徐行もせずに自転車が飛び出していきます。私たちは、これをバイシクルミサイルと呼んでおりました。中・高生は、まだまして、若者から年配の方まで、マナーがひどいです。</p> <p>大阪の自転車も恐ろしいですが、高知はそれ以上です。ヘルメット着用率も、低いように見えました。過去には、重大事故が起きていますが、高知市民は意に介していませんね。</p> <p>警察も市役所も、お忙しいのは承知しておりますが、安全のためにも高知市のイメージアップのためにも、取り締まりと指導・啓発にさらに力を入れていただきたく、お願いいたします。</p>	<p>日頃から自転車の安全利用について広報啓発を行っておりますが、現状についてのご指摘を真摯に受け止め、より一層自転車の安全で適正な利用に関する啓発を警察や関係機関とも連携して行うとともに、取締り・指導については、警察に必要な情報提供を行ってまいります。</p> <p>この度は、折角の高知旅行に際し大変不快な思いをなされたこと申し訳ありません。</p> <p>今後とも、本市交通安全行政への御理解御協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>	くらし・交通安全課
11月	市民生活(くらし)	「個室トイレ」における生理用品の常備・無料提供	<p>(背景) 近年「生理の貧困」が取り上げられることが増えました。高知市では「生理用品の無償提供が実現しました。」</p> <p>しかし、この課題の根本には、男女間のジェンダーギャップによる女性の「生理に対する配慮の欠如」があります。</p> <p>(困り感・課題) 無償提供している施設もありますが、配付施設が「限定」されているため、施設まで「赴かないと受け取れない」という「場所的・時間的制約」があります。これは、すべての女性の困り感に対応できていないという意味でもあります。</p> <p>生理用品を保持していても、外出中、生理用品を携帯していないことによる困りや不便といった、QOL上の課題があります。</p> <p>(提案) 公共施設の「個室トイレ」に生理用品を常設し、無料提供することを提案します。具体的には、生理用品提供サービス「OiTr(オイテル)」というサービスが導入できるのではないかと考えています。「オイテル」とは、個室トイレに、生理用ナプキンを常備し、無料で提供するサービスです。</p> <p>高知市役所や、高知市の男女共同参画推進の拠点施設である「ソーレ」に導入するのはいかがでしょうか。</p> <p>(設置の意義) 1必要な時に、「個室トイレ」に駆け込めばその場で受け取れます。わざわざ「配付施設」に向く必要がありません。プライバシーの保護にも繋がります。 2生理用品を常備・携帯する負担の軽減に繋がります。「生理という自然現象」の理解・配慮が市民に広がっていき、ジェンダーギャップを解消する機運を醸成します。また、ジェンダーギャップの解消に挑んでいる本市の本気度を伝えることもできます。生理用品はトイレトペーパーと同じです。ご検討のほどよろしく申し上げます。</p>	<p>高知市では、現在、市役所本庁舎の当課窓口及び市内13か所の市民会館、4か所の子育て世代包括支援センターにて、様々な理由で生理用品の入手が難しい方に対し、生理用品パックの無償提供を行っています。</p> <p>また、高知県が行う「女性の活躍支援事業」の取組として、市役所本庁舎の女性用トイレ個室に、生理用ナプキン1枚と相談窓口案内カードをセット(個包装)にしたものを配置し、配布することで、女性を取り巻く悩みやトラブルが早期段階で解決・解消につながるよう支援しており、県と連携して「生理の貧困」の課題に対して取り組んでいます。</p> <p>誰もが生涯にわたり社会参画し続けられるよう、心身の健康を保つことは、ジェンダー平等社会を実現するうえで重要な視点と考えており、その意味で「生理の貧困」は継続して取り組むべき課題であると認識しています。</p> <p>ご提案の生理用品提供サービスにつきましても、実施自治体の取組状況等を研究し、本市において導入することが適当かどうか等を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>※ 追記 高知市役所本庁舎等での生理用品の無償提供は、令和6年5月24日をもって終了しました。 また、高知県が行う「女性の活躍支援事業」の取組も、令和5年度末をもって終了しました。</p>	人権同和・男女共同参画課

受付月	区分	件名	市民の声	回答(対応)内容	担当課
11月	市民生活(くらし)	選挙の投票所の件で提案です。	高知県は高齢者率が高く、私も昨年から高齢者になりました。三年前から〇〇団地に住んでいますが、多くの高齢者が居住しております。若い方の投票を促すために、大学やスーパー等に投票所を設置していると思いますが、反面、足腰の弱い高齢者にとっては投票所までの距離が遠いと思います。提案ですが、高齢者の多い団地の集会所に投票所を設置していただければと思います。投票率を上げる一つの方法でないかと思しますので、検討していただきたく、提案いたします。	本市では、多くの有権者の方が投票しやすい環境を目指して、当日投票所を投票区毎に99箇所設置しております。また、期日前に投票区以外でも投票することができる期日前投票所につきましては、利便性の高い商業施設の4箇所を含め、市内の東西南北に18箇所バランス良く設置し、設置箇所数は全国の中核市の中でも上位となるなど、これまで投票環境の改善を図ってきたところであり、先の高知県知事選挙及び高知市長選挙におきましては、全投票者の4割近くの方に利用していただいているところです。一方、ご高齢の方などから投票所までの移動が大変だといったお声をいただくこともあり、また、日時を限って「移動期日前投票所」を地域の集会所などに設けている自治体もございますが、有権者の減少や従事者の確保が困難などの理由から当日投票所の維持が難しくなり、廃止や設置時間の短縮などを検討するなかで、投票機会の確保策のひとつとして、地域を限定して導入されている例が多いようです。本市において移動期日前投票所を設置する場合は、従事者や立会人の確保に加え、移手段の確保などにも一定の事業費を必要とすることなどから、現時点では困難ではないかと考えており、仮に検討する場合においても、投票所の再編などを含めて検討する必要があるのではないかと考えております。なお、投票率の向上につきましては、本市を含め全国的な課題でもありますので、啓発活動など他の自治体における様々な取り組みなどを参考にしながら対策を講じてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。	選挙管理委員会
2月	市民生活(くらし)	夜飲食街での客引き	先週法事のため郷里に一時帰高。法事後、景勝地を巡ったり、地元の料理を楽しんだりしていました。夕食後、帯屋町から追手筋に向けて大丸デパート近くから歩いていますと、たくさんの客引きに声をかけられたりして驚いてしまいました。いつからこのような状態になったのか分かりませんが、地場産業の少ない土地柄観光客にも悪影響及ぼしてはと心配しております。昨年のNHK朝ドラで大きく郷里が取り上げられ、また来年も「やなせたかし」さんが取り上げられ放送予定だと聞いております。折角の高まりを減退させるのではなく、これからも繋いで行き多くの観光客に満足して”また来たいな”と願っていたような郷土づくりを期待しております。	高知市中心市街地での客引き行為などについては、ぼったくりなどにも通じる悪質な事例もあり、被害などがあつてはならないことと認識しております。現在、高知県公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例等に基づく警察の規制や取締りはもとより、本市といたしましても、警察や関係機関との情報共有を行うとともに、広報紙への掲載を通じて広く注意を呼びかけるよう努めているところです。この度は、折角の御帰高に際し不安な思いをされたとのことであり、大変申し訳ありません。観光で高知を訪れた方、市民ともに安心して夜の街を楽しんでいただけるよう、より一層警察や関係機関との連携を密にまいります。	くらし・交通安全課
3月	市民生活(くらし)	イベントの周知について	高知市内で行っているイベントをネット検索しても分からないことが多い。高知でのイベントが探せるようにして欲しい。行き損ねたイベントが多い。	本市主催のイベントの広報については、庁内研修等を通じて市民に対しての情報をしっかりと発信することの重要性を職員に対して説いていくことを伝えてご理解いただいた。	広聴広報課
3月	市民生活(くらし)	市民の声の写真添付について	市民の声を投稿する際に、メールも写真を添付できるようになればもっと良いものになると思います。	市民の声の入力フォームは、システム上の関係から写真の添付ができない状況でございます。大変ご不便をお掛けしております。今後、システム見直しの際の検討課題とさせていただきますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。なお、市民の声は入力フォーム以外にも情報公開・市民相談センターの電子メール(kc-011601@city.kochi.lg.jp)からでもお受けすることができます。こちらには写真添付が可能です。ほかにも、高知市LINE公式アカウントを「友だち追加」することで、市道や公園の遊具等の破損状況を写真や位置情報によって市の担当窓口に伝えることができる「通報機能」もご利用いただけます。	広聴広報課